

## 50年の歴史に学び新たな一歩へ

組合の新年互例会に約80人が出席

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長、60社）の「平成23年新年互例会」が1月13日、会員、賛助会員ら約80人が出席して大阪市内のホテルで開催され、新たな年のスタートを祝福するとともに、今年一年の飛躍を誓い合いました。

冒頭、挨拶した岩田理事長は今年7月に組合創立50周年を迎えることの言及し「先人たちが築いてきたこれまでの50年の歴史をしっかりと学び、今後の組合としての道筋を決める新たな一歩としたい。誰かが何とかしてくれた時代は終わり、これからは我々自らが声をあげていかなければ業界は変わっていかない」と述べ、意識改革の必要性を強調しました。また、組合の社会奉仕活動の一環として取り組んでいる学生や生徒たちを対象にした出前講座についても継続して実施していく考えを示しました。

この後、中山泰秀・前衆議院議員による来賓挨拶に続いて、田浦真一副理事長の発声で出席者全員が力強く乾杯し、和やかな雰囲気の中で祝宴へと移りました。

